

〈社会科〉 6年

「大田区学習効果測定」結果の分析

〈社会的事象への関心・意欲・態度〉

- ・基本的には社会的事象についての関心は高いが、一部関心をもてていない内容に関しては無答の割合が増える。

〈社会的な思考・判断・表現〉

- ・日本の輸入品の変化について、その背景を複数の資料をもとに判断することに課題がある。
- ・自動車に使われる部品の多くを関連工場で作る理由・ロボットによって仕事を行う理由について考察することができている。

〈観察・資料活用の技能〉

- ・年間を通した米作りの様子を資料と関連づけて考えることに課題がある。

〈社会的事象についての知識・理解〉

- ・日本の国土の地形の概要については、よく理解できている。
- ・太平洋ベルトや、自動車の製作工程についての理解に課題がある。

重点課題

〈社会的事象への関心・意欲・態度〉

- ・自分たちの生活と結びつきやすいものについては関心が高いが、「日本の農業」など自分たちの生活と結びつきにくいものには関心をもちにくく、学習意欲も低い。

〈社会的な思考・判断・表現〉

- ・日本の輸入品の変化について、その背景を複数の資料をもとに判断することに課題がある。

〈観察・資料活用の技能〉

- ・年間を通した米作りの様子を資料と関連づけて考えることに課題がある。

〈社会的事象についての知識・理解〉

- ・短答式の問題で目標値や前年度の正答率と比べ大幅に下がっている問題があり、用語の定着に課題がある。

授業改善策

〈社会的事象への関心・意欲・態度〉

- ・児童が歴史に興味をもてるよう、各時代を代表する人物の伝記、歴史的な出来事に関連する文化財、歴史についての視聴覚資料などを用いたり、また、歴史に関するエピソードを話したりするようにする。
- ・新聞資料を活用しながら時事的な話題を取り上げて興味関心を高め、歴史や政治、文化を身近に感じられるようにする。

〈社会的な思考・判断・表現〉

- ・歴史上の人物を取り上げて学習し、その人物が歴史の中でどのような役割を果たしたか、また今の日本や日本人にどのような影響を与えているかを考えさせる。
- ・民主政治の働きを具体的事例に基づいて理解することによって、国民生活の課題を解決するための政治の仕組みについて捉えられるようにする。
- ・調べたことの要点や意味をまとめたり、自分の考えを明確にしたりする学習を繰り返し行うことで、表現する力を高める。

〈観察・資料活用の技能〉

- ・授業の中で、意図的に地図・年表、グラフや表等の資料の読み取り作業を取り入れ、児童の理解を深めていく。
- ・資料から読み取ったことを課題に沿って年表や白地図、関係図に整理して新聞やノートにまとめていく学習を取り入れていく。
- ・単元のまとめごとに資料を自分で探し、ノートにまとめさせる。

〈社会的事象についての知識・理解〉

- ・ワークシートで理解するべき内容をおさえたり、調べたことを発表する活動を設けたりして、知識や理解の確実な定着を図る。
- ・身に付けさせたい社会科用語を用いて学習のまとめを行う活動を日常化し、知識の定着を図る。